

中小企業アンケート結果 (平成26年2月実施)

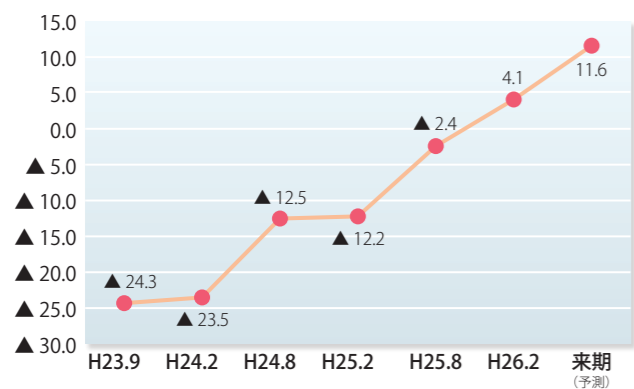
県内中小企業の景況と実態を調査するため、前回(H25.8)に引き続き、当協会利用の中小企業者500先に対してアンケートを実施いたしました。

回答の内容は以下のとおりで、県内中小企業の景況感は前回より改善の兆しが見られました。本アンケートは今後も継続し、県内の中小企業の景況と実態を把握してまいります。

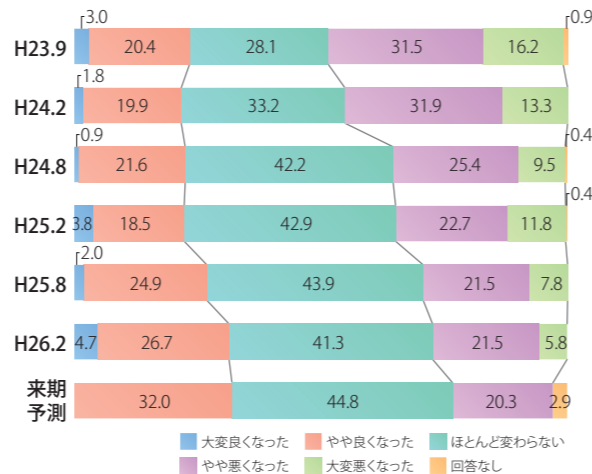
本調査にご協力いただきました方々に対し、厚く御礼申し上げます。

調査対象	当協会を利用する中小企業者 500 企業		
実施時期	平成 26 年 2 月 20 日～平成 26 年 3 月 5 日		
配布数	500 通	回答	172 通
調査方法	無記名アンケート方式	回答率	34.4%
概要調査	業種	従業員規模	

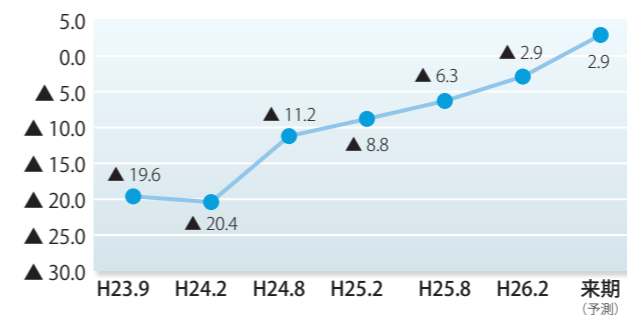
業況 前回調査に引き続き大きく持ち直し、プラスに転じた 来期は更に改善の見通し



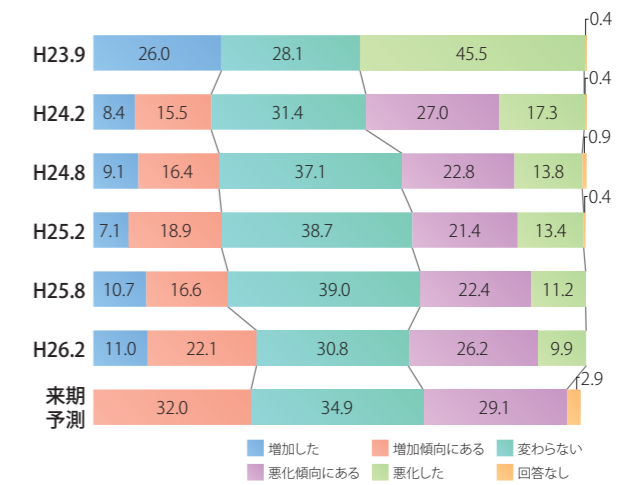
- 業況DI(好転-悪化)は前期が▲2.4で今期が4.1とプラスに転じ、6.5ポイント改善した。
- 来期の予測DI(好転予測-悪化予測)は11.6で、今期より7.5ポイント改善の見通しとなっている。



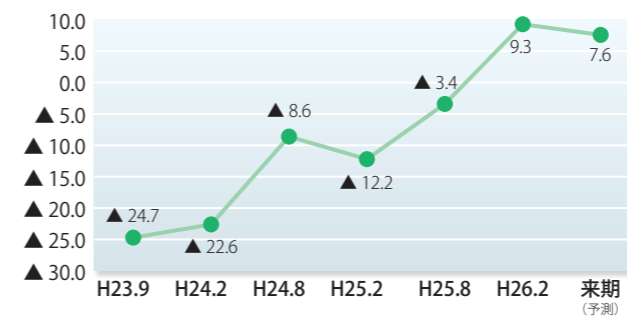
生産と売上 前回調査に引き続き持ち直している 来期は更に改善の見通し



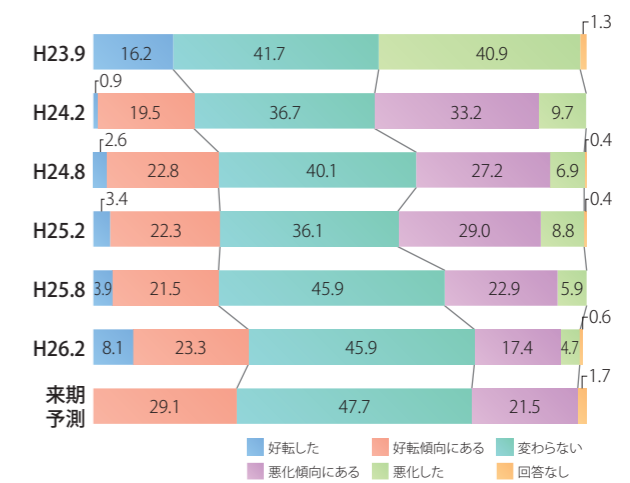
- 生産・売上DI(増加-減少)は前期が▲6.3で今期が▲2.9となり3.4ポイント改善した。
- 来期の予測DI(増加予測-減少予測)は2.9で、今期より5.8ポイント改善の見込みとなっている。



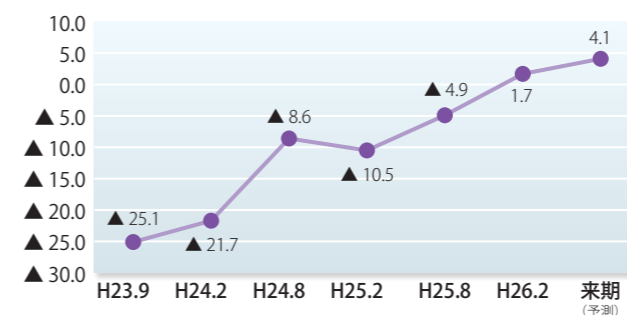
採算 前回調査に引き続き大きく持ち直し、プラスに転じた 来期はプラス幅がやや縮小の見通し



- 採算DI(好転-悪化)は前期が▲3.4で今期が9.3とプラスに転じ、12.7ポイント改善した。
- 来期の予測DI(好転予測-悪化予測)は7.6で、今期より1.7ポイントプラス幅が縮小する見通しとなっている。



資金繰り 前回調査に引き続き持ち直している 来期は更に改善の見通し



- 資金繰りDI(好転-悪化)は前期が▲4.9で今期が1.7とプラスに転じ、6.6ポイント改善した。
- 来期の予測DI(好転予測-悪化予測)は4.1で、今期より2.4ポイント改善の見通しとなっている。

